

2022 年度事業報告

自：2022 年1月1日 ～ 至：2022 年12 月 31 日

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

I. 基本方針

本年度は、2021 年に策定したアクションプランの実行フェーズとして、Be wit hall 事業の推進と共に各重点領域において整理した課題に着手した。また、新型コロナウイルスの感染予防対策を重要視しながら、ナショナルゲーム広島を開催し、ウイズコロナにおける対面型競技会事業の再開に取り組んだ。

【SON のミッション、ビジョン】

＜ミッション＞

知的障害のある人たちに年間を通じて、オリンピック競技種目に準じた様々なスポーツトレーニングと競技の場を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、勇気を奮い、喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能そして友情を分かち合う機会を継続的に提供すること。

＜ビジョン＞

スペシャルオリンピックス日本は、知的障害のある人々とのスポーツを通じた様々なユニファイド活動により、多くの気づきと行動を生み出します。

ステイトメント： 多様な人々が生きる社会の実現を目指す

スローガン： 「Be with all」

※本ビジョンを推進する事業を「Be with all 事業」と称する。

【アクションプラン 2021-2025】

①事業

＜イノベーション事業＞

- ・“Be with all”の普及促進
- ・ICTを活用した事業推進

＜スポーツ事業＞

- ・スポーツ活動の充実
- ・持続可能な競技会/大会の開催

②組織

- ・組織全体の適正なガバナンスの確保と最適な新組織体制の構築
- ・国内 SO 組織の再定義

③経営

- ・経営、財務資源の最適化
- ・人材マネジメント

II. 競技会開催事業

1. 2022 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島 開催

新型コロナウイルス感染症拡大以降、初めてとなるナショナルゲームを広島県内各所で実施した。

今大会では従来の大会運営に加え、SON 新型コロナウイルス基本方針ガイドラインに基づき十分な検討、対策を行い、危機管理体制の構築等、参加者の安全を第一に考えた大会運営を行った。

1) 開催日程：2022 年 11 月 4 日(金)～6 日(日)

11 月 4 日(金)	開会式
11 月 5 日(土)	競技(予選、ディビジョニング)
11 月 6 日(日)	競技(決勝)/ 表彰式 / 閉会式

2) 開催地：広島県内各所(広島市、呉市、三原市、北広島町)

3) 参加者：アスリート・パートナー：826 名
選手団役員・コーチ：482 名

大会役員、審判 : 700 名
 ボランティア : 延べ 4,300 名
 観覧者 : 延べ 10,400 名

4) 実施競技 : 11 競技 + デモンストレーション

・陸上競技 ・バドミントン ・バスケットボール ・ボウリング ・馬術
 ・柔道 ・サッカー ・競泳 ・卓球 ・テニス ・フライングディスク
 ・自転車(デモンストレーション)

5) 付帯イベント : ヘルシー・アスリート・プログラム : 462 名

ユニファイドスポーツ(デモンストレーション): 147 名

(バスケットボール 111 名、バドミントン:36 名)

ファミリーボランティア交流会 : 350 名

6) 大会参加者総数 : 合計 約 16,700 名

2. 2024 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム 開催準備

2024 年の冬季ナショナルゲームの開催準備を下記の通り行った。

- ・開催地選考方法及び開催方法の決定
- ・開催地の決定
- ・表敬訪問(長野市長、名寄市長)
- ・大会概要、実施体制の策定
- ・大会基本計画及び予算の作成

Ⅲ. 国際大会への代表選手団の派遣事業

1. 2022 年スペシャルオリンピックスユニファイドカップ・デトロイト 派遣(派遣中止)

7 月 31 日から 8 月 6 日かけてアメリカ合衆国ミシガン州デトロイトにて開催された本大会への派遣については、新型コロナウイルスの影響下での国際大会派遣事業となるため、理事長、副理事長、常務理事、事務局にて、派遣の可否を判断するために定期的にモニタリングの機会を設けており、6 月に行ったモニタリングにて、派遣中止を決定した。なお、大会への派遣を中止とした為、代替試合として、豊田スタジアム(愛知県豊田市)にて、名古屋グランパスアカデミー U-15 との親善試合を実施した。

2. 2023 年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ベルリン 派遣準備

本大会派遣に向けた準備を下記の通り行った。

日程	活動	参加者	
6 月 16 日(木) ～24 日(金)	Head of Delegation -MTG	職員	2 名
11 月 19 日(土)	選手団選考委員会(オンライン)	選考委員	6 名
12 月 17 日(土)	コーチミーティング①(オンライン)	役員・コーチ	22 名
12 月 17 日(土)	オリエンテーション(オンライン)	アスリート、ファミリー、 パートナー、コーチ、 地区組織関係者	73 名

IV. 知的障害者の地域スポーツ活動振興の拠点となる地区組織等への支援事業

1. 地区連絡協議会、スポーツプログラム委員会全国会議、事務局長全国会議の開催

本年も、オンラインにより開催し、これらの会議を通じて、SON の事業方針等を地区組織に共有するとともに地区組織との意見交換を行う場として実施した。

日時 : 3 月 26 日(土)、3 月 27 日(日)

参加者 : 地区連絡協議会、SP 委員会全国会議 : 121 名

事務局長全国会議(分科会) : 87 名

開催形式: オンライン

2. 地区組織の認定及び更新、地区組織強化支援

＜地区組織の認定更新＞

各地区組織から提出された 2021 年度事業報告・決算報告、2022 年度事業計画・予算等の総会資料を精査するとともに、世界共通で行われているアスリート活動調査等の提出をもって地区組織の認定更新を行い、認証状を交付した。

＜地区組織強化支援＞

地区委員会にて、地区組織の運営に関する共通課題として、組織のリスクマネジメント、情報管理体制の強化、NPO マネジメント等の分野において、組織として推奨される取り組みや水準を提示するために「持続可能な地区組織運営に関する手引き」を制作し、全 47 地区組織へ配布した。

3. 地区組織自己評価基準の策定及び運用

約 30 項目の評価基準で地区組織自らが組織の評価を行うことで、組織的な成熟度や活動の進捗度を客観的に把握するために本年も自己評価を実施した。

4. 地区委員会及びブロック連絡協議会の開催

＜地区委員会＞

全国 6 ブロックの代表者と SON の理事が出席する地区委員会を、オンラインにて定例で開催し、年間を通じて設定したテーマ及び時宜に即したトピック等を議題として意見交換や情報共有を行った。定期的なコミュニケーションの機会を通じ、SON と地区間のコンセンサスを図るとともに、ブロック代表者が理解を深めながらブロック内の地区組織への情報展開や共有に努めた。

＜ブロック連絡協議会＞

ブロック内の地区組織事務局及びスポーツプログラムに関する代表者が出席するブロック連絡協議会を、上半期、下半期の年 2 回オンラインで開催し、SON の事業方針や地区組織における課題などについて意見交換を行った。これにより SON と地区組織間のコミュニケーションを円滑にするとともに、実践に基づく現場の知識・ノウハウの共有が図られ、全国ネットワークにおける情報共有と地区組織の現場における活動推進力が強化された。

ブロック名	上半期ブロック会議	下半期ブロック会議
北海道・東北ブロック	3 月 27 日(日)	11 月 12 日(土)
関東ブロック		11 月 19 日(土)
東海・北信越ブロック		12 月 24 日(土)
近畿ブロック		11 月 13 日(日)
中国・四国ブロック		10 月 29 日(土)
九州・沖縄ブロック		12 月 4 日(日)

5. スポーツプログラム(SP)委員会及び競技部会活動

SP 正副委員長会議等の定期開催及び各競技部会による Dropbox 活用によるクラウドでの資料共有、メール・グリスト利用による情報共有の円滑化を進めることにより、国内スポーツ事業全般の普及推進を図った。

6. 助成

- 1) 地区競技会推進支援制度 : 3 地区組織に 400,355 円を助成

各地区組織において日常トレーニングの成果の発表の場である競技会の開催を推進することを目的として下記の通り助成を行った。

	助成の対象となった大会・競技会	助成対象地区	助成金額
1	2022 年第 23 回スペシャルオリンピックス日本・神奈川 夏季地区大会	SON・神奈川	284,825 円
2	2022 年 SON・新潟 ボウリング・卓球 地区競技会	SON・新潟	93,220 円
3	スペシャルオリンピックス日本・兵庫 2022 年 第 14 回テニス競技会	SON・兵庫	22,310 円

- 2) 地域 SO 活動への特別助成 : SON・愛知 500 万円、SON・北海道 250 万円

V. 知的障害者のスポーツ参加及び健康増進推進事業

1. ユニファイドスポーツ®

小学校や高等学校と連携し、フロアボールによるユニファイドスポーツ®の普及活動を実施した。

＜体育・総合的な学習＞

実施校 : 札幌市立平岸小学校(北海道)

日程 : 6 月 6 日(月)～6 月 30 日()

対象 : 6 年 1 組:38 名 6 年 2 組:39 名 1 学年:88 名

＜道徳授業地区公開講座・講演会＞

実施校 : 江戸川区立二之江小学校(東京都)

日程 : 9 月 3 日(土)

講演テーマ : 「ユニファイドスポーツ (フロアボールデモンストレーション)

～個性を理解し合う関係を気付く取組み～

対象 : わかくさ級:12 名、5 年 1 組・2 組:66 名、6 年 1 組・2 組:63 名

教師・学校関係者:6 名(延べ 147 名参加)

＜フロアボール体験会＞

実施校 : 神奈川県立田奈高等学校(神奈川県)

日程 : 10 月 19 日(水)

対象 : 1 学年 45 名、2 学年 52 名

＜体育・市民科＞

実施校 : 品川区立中延小学校(東京都)

日程 : 10 月 15 日(土)～11 月 30 日(水)

対象 : 5 学年、6 学年:23 名、3 組(特別支援級) :11 名

2. 健康増進推進事業

1) オンラインヘルスセミナー

トレーナー・コーチを対象に、SON スポーツウェルネスチームがオンラインヘルスセミナーを実施した。

	開催日	テーマ	参加人数
1	3月16日(水)	SO アスリートの生活習慣病の現状とスポーツ栄養食について	95名
2	5月26日(木)	スポーツにおける足関節の重要性	161名
3	7月14日(木)	スポーツにおける聴覚、耳周囲外傷	117名

2) 夏季ナショナルゲーム・広島での ヘルシー・アスリート・プログラム(HAP)の実施

夏季ナショナルゲーム・広島にてヘルシー・アスリート・プログラム(HAP)を実施した。

2日間にわたり462名のアスリート、パートナーまた広島市内に住む知的障害のある人たちがプログラムに参加し200名以上の広島県所属医療従事者がボランティアとして活動した。知的障害のある人たちに対するスクリーニング方法等もクリニカルディレクターら指導の下実施され、健康増進推進事業の普及の場となった。

開催日:11月4日(金)、5日(土)／部門数:6部門

3. アスリートリーダーの育成

＜アスリートアンバサダー＞

アスリートの成長の機会として、アスリート自身が広報活動を行う「アスリートアンバサダー」の第2期メンバーによる活動を行った。本年は、活動の最終ゴールを「スペシャルオリンピックスを伝える番組をつくりましょう！～プロの方たちと一緒に～」とし、アスリートアンバサダーのスキル向上研修等を行った。

また「全国代表者会議」や「アスリートストーリー発表会 2022」にて司会を担当するなど、多くの方々の前でアスリートたちが自分たちの言葉で伝える機会をひろげた。2023年1月には、集大成として最終ゴールである「スペシャルオリンピックスを伝える番組」の収録に取り組む。

① オンラインミーティングの実施

1月22日(土)、2月19日(土)、3月16日(水)、4月28日(木)、5月25日(水)、6月24日(金)、7月28日(木)、8月25日(木)、10月28日(金)

・研修内容

「インタビューって何？」研修(人の話の聞き方について)

「自分のこと知って、自分のことを話す」研修

「自分の言葉で“伝える”アナウンス」研修(話の仕方について)

② アスリートアンバサダーによる広報活動

・「SON×TOYOTA フレンズミーティング」にて、アスリートを代表しイベントの感想とお礼メッセージを担当

・「SON・Softbank フレンズミーティング」にて、アスリートを代表し、イベントの感想とお礼メッセージを担当

・その他支援企業・団体に向けてのメッセージ動画撮影や、SON 主催イベントの PR 等を担当

＜アスリートストーリー発表会＞

アスリートリーダーシッププログラム(ALPs)の一環として昨年に引き続き「アスリートストーリー発表会 2022」をオンラインにより開催した。アスリートアンバサダー3名が進行役を務め、地区組織に所属するアスリート10名がそれぞれのテーマに沿った体験談等の発表を行い、アスリートの情報発信・交流の場としてアスリートが成長する機会となった。

・開催日時：9月10日(土)

- ・配信方法 : You Tube ライブ
- ・同時視聴者数 : 69 名
- ・視聴回数 : 680 回
- ・発表テーマ : SO の活動を通して変化・成長したこと / 私が今チャレンジしていること(SO 以外で) / 未来の自分へ～こんな人になりたい、目指したい～
- ・参加アスリート:10 名
- ・司会アスリート:3 名(アスリートアンバサダー)

4. ヤングアスリート及びファミリーサポートネットワーク

2022 年度は実施していない。

VI. ボランティア、指導者、審判員等育成事業

1. 指導者養成

ボランティアコーチの育成と既存トレーナーのレベル及びスキルアップを目的とし、各種研修事業を開催した。

- 1) オンラインコーチクリニック(ゼネラルオリエンテーション・アスリート理解) : 6 回開催 / 参加者 543 名
- 2) オンラインコーチクリニック(認定コーチ更新講習) : 6 回開催 / 参加者 497 名
- 3) オンラインコーチクリニック(ユニファイドスポーツ) : 6 回開催 / 参加者 75 名
- 4) コーチクリニック競技実技(対面) : 85 回開催(10 地区) / 参加者 1,024 名

※競技座学はオンデマンド(You Tube 動画視聴)で実施

2. スポーツプログラム委員会全国会議

各地区組織からスポーツプログラム委員会の代表者が参加し、SP 委員会体制と役割、コーチ研修制度の新制度の運用、競技部会の活動の推進、成果発表の場の拡充、新競技の導入について SON と地区組織における目標の共有と競技会運営等における課題解決に向けた取り組みについて、意見交換を行った。

日程:3 月 26 日(土) 会場: Web 会議システム

3. SON×TOYOTA コーチングセミナー

パートナー企業であるトヨタ自動車の運動部に所属するコーチを講師として招き、SON のコーチやボランティア等を対象にオンラインにてコーチングセミナーをオンラインにて実施した。

	開催日	内容	参加人数
1	6 月 21 日(火)	コミュニケーション	120 名
2	10 月 18 日(火)	メンタルサポート	130 名

4. トレーナー養成講座

SO 活動の普及とコーチ育成を担うトレーナーと SON、またはトレーナー間の情報交換及びスキルアップを目的としてトレーナー養成講座を実施した。

	開催日	内容	参加人数
1	7 月 2 日(土)	プレゼンテーション研修	4 名
2	9 月 4 日(日)	リフレクション研修、 ファシリテーション研修	8 名

VII. 広報・啓発事業

2022 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島に係る広報活動や Be with all 事業での様々な広報・啓発活動を通じて、スポーツの可能性や社会との連携の可能性を積極的に発信し、様々なステークホルダーを巻き込んだ活動を実施した。また、第 2 期アスリートアンバサダーによる広報活動を実施した。

1. 広報・啓発

1) 2022 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島の大会広報活動

本大会に係る、イベントの開催や TV、新聞等のマスメディアや 各所でのデジタルサイネージ、スタジアムの大型ビジョン、交通広告等を使って幅広く大会や SO の PR 広報活動を行った。

- ・4 月 2 日(土) 採火式・トーチランファーストレグ・分火式
- ・7 月 29 日(金) 100 日前イベント カウントダウンボード除幕式
- ・10 月 1 日(土) 1 か月前記者発表、カウントダウンボード移設除幕式

2) Be with all 事業 団体・企業連携

B リーグなどの団体、パートナー企業社員と全国のアスリートが企業について学び交流するオンラインイベント開催等による企業との連携事業等、“Be with all 事業”を積極的に展開した。

① SON×B.LEAGUE Hope 共同プロジェクト「Challenge with ALL」発足

SON 地区組織と B.LEAGUE クラブとが連携し、地域活動による繋がりを通じてインクルージョン社会の実現を推進することを目的に、公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグの社会的責任イニシアティブである B.LEAGUE Hope との共同プロジェクト「Challenge with ALL」を発足し、北海道、島根、沖縄での連携を開始した。

●SON・北海道×レバンガ北海道

- ・「EKS DAY 2022」における、バスケットボール体験ブースの運営
- ・特別支援学校でのバスケットボール出前授業の開催
- ・レバンガ北海道ホームゲームでのアスリートの就労体験等及び試合観戦招待

●SON・島根×島根スサノオマジック

- ・島根スサノオマジックホームゲームでの広島大会出場アスリートの PR 及び試合観戦招待

●SON・沖縄×琉球ゴールデンキングス

- ・琉球ゴールデンキングスホームゲームでの連携協定式及び試合観戦招待

② Be with all SON×TOYOTA フレンズミーティング

開催日： 3 月 5 日(土) 10:00～11:00

内 容：(第 1 部)トヨタ会館オンライン授業 ～クルマづくりをみてみよう！～

(第 2 部)トヨタ自動車の皆さんとリモート交流会 ～クイズ大会で盛り上がろう！～

参加者： 52 名

対 象： アスリートとそのファミリー

③ Be with all SON・Softbank フレンズミーティング

開催日： 5 月 21 日(土) 10:00～11:00

内 容：(第 1 部)ソフトバンクってどんな会社？ オンラインワークショップ

～正しく知ろう！スマートフォン、SNS～

(第 2 部)ソフトバンクの皆さんとリモート交流会

参加者： 17 名

対 象： アスリートとそのファミリー

④ 「Zoom で楽しくユニファイドトレーニング supported by ANYTIME FITNESS

SON パートナー企業である Fast Fitness Japan (エニタイムフィットネス) とスペシャルオリンピックス 2022 広島に向け、Zoom を通じて全国のアスリートと一緒に楽しく自宅のできる”ユニファイドトレーニング”を実施した。

	開催日	テーマ	参加人数
1	5 月 14 日(土)	持久力	35 名
2	7 月 16 日(土)	柔軟性	30 名
3	9 月 3 日(土)	筋力	23 名

⑤ アルバルク東京 SO デー ハーフタイム PR

3 月 20 日(日)、アルバルク東京 WE RED DAY supported by TOYOTA SO デーにて、チア共演パフォーマンスの披露や、ユニファイドスポーツ®、ナショナルゲーム広島の PR を行った。

⑥ SON×B.LEAGUE Hope みんなでダンス企画に参加しよう！

「日本生命 B.LEAGUE FINALS 2021-22」を盛り上げるべく、SNS を活用したダンス企画を実施した。

参加者： SON アスリート、コーチ約 90 名(10 地区)、B.LEAGUE21 クラブ

⑦ トヨタ自動車硬式野球部 連携プロジェクト

SON ナショナルパートナートヨタ自動車株式会社運動部である硬式野球部と SON アスリートが年間を通じて交流し、それぞれの目標に向かって応援し合い、お互いを高め合える関係を築き、心身共に、さらなる成長・進化を目指す企画に取り組んだ。

開催日： 2022 年 4 月 22 日(金)、5 月 3 日(火)、7 月 7 日(木)、8 月 26 日(金)、10 月 23 日(日)

2023 年 1 月 25 日(水) 予定 ※全 6 回

参加者： アスリート 5 名、トヨタ自動車硬式野球部 3 名

3) SON 公式ウェブサイトリニューアル

SON の主力事業や注力している活動を分かりやすく情報提供することを目的として、SON ナショナルパートナーである株式会社ビジネスアーキテクツからの支援により、公式ウェブサイトをリニューアルした。

2. 資金調達(寄付・マーケティング)

Be with all 事業を軸に、さまざまなユニファイド活動により多くの気づきと行動を生み出し、パートナー企業と「交流・相互理解・機会やサービスの提供」という価値を提供し今後につながる資金調達活動を実施した。また、2022 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島に係るマーケティング活動を実施した。

＜東京レガシーハーフマラソン＞

当法人は、東京マラソン財団主催の第 1 回目となる「東京レガシーハーフマラソン 2022」の寄付先団体として、選定され、10 月 16 日(日)大会当日に走り終えたチャリティランナー向けのチャリティラウンジを設け、ホスピタリティ提供を行った。

(公財)スペシャルオリンピックス日本は、東京マラソン財団チャリティ「RUN with HEART」の寄付先団体です。東京レガシーハーフマラソン大会公式ウェブサイト: <https://legacyhalf.tokyo/>

＜オンライン寄付フォームの開設＞

オンラインクレジット決済による寄付フォームを開設し、法人及び個人寄付の利便性の向上を図った。

3. 他団体との連携

1) 教育機関との連携

教育やスポーツの分野を通じ、多様な人々が生きる共生社会の実現を目指すため、中京大学と包括連携協定を締結した。また、中京大学×SON トークイベントを開催し、スポーツを通じたインクルーシブな社会をつくるための取り組みや、参加者と一緒にインクルーシブな社会の実現のためのアイデアを共有した。また、東洋大学では、社会福祉学科のゼミを中心に、学生とアスリートアンバサダーとのオンラインによる定期的なミーティングの実施や、学生と知的障害者のユニファイドレクリエーションをサポートすることで、様々なユニファイド活動を実践し、相互理解を深めることで学生の共生意識の醸成につなげた。

2) 競技団体等との関係強化

日本パラスポーツ協会、日本スポーツチア&ダンス連盟、日本フロアボール連盟

日本テニス協会、日本知的障がい者サッカー連盟 など

＜一般社団法人日本フロアボール連盟(JFF)と協力提携に関する覚書締結＞

一般社団法人日本フロアボール連盟(JFF)とSO アスリートやユニファイドパートナーの間でフロアボール競技を普及・振興するプログラムの開発・実施に向けて技術的なアドバイス、オフィシャルトレーニング、競技会のサポート等の支援に係る覚書を締結した。

VIII. 調査研究事業

＜研究発表等＞

- ・日本体育・健康・スポーツ学会第 72 回大会/生涯スポーツ研究部会テーマ別シンポジウム【課題 A】
『スペシャルオリンピックスのスポーツボランティアを通して考えるその役割と今後の課題』
- ・生涯スポーツ学会/生涯スポーツ学研究 Vol.19 No.1 2022(短報掲載)
『知的障害のある人たちの生涯スポーツイベントの効果に関する一考察：
ースペシャルオリンピックスのナショナルゲームに着目してー』

＜調査等＞

- ・ユニファイドカップ派遣に伴う選手団の意識調査は派遣中止により未実施
- ・アスリートのアクセシビリティ調査についての調査内容等の検討
- ・30 周年記念調査報告書(2024 年発行予定)についての企画案検討

XI. 会議開催等

＜評議員会＞

定時評議員会 日時：3月17日(木)15:00～16:30 場所：Web 会議システムにより実施

＜理事会＞ 全 5 回

第 1 回理事会	日時：2月24日(木)18:30～20:50	場所：Web 会議システムにより実施
第 2 回理事会	日時：5月11日(水)18:30～20:20	場所：Web 会議システムにより実施
第 3 回理事会	日時：7月28日(木)18:30～20:20	場所：Web 会議システムにより実施
第 4 回理事会	日時：10月6日(木)18:30～20:35	場所：Web 会議システムにより実施
第 5 回理事会	日時：12月22日(木)18:30～20:35	場所：Web 会議システムにより実施

<専門委員会等>

【地区委員会】 全 8 回

Web 会議システムを使用して会議を開催した。

1 月 22 日(土)、2 月 19 日(土)、3 月 12 日(土)、4 月 23 日(土)、6 月 18 日(土)、8 月 27 日(土)、
10 月 8 日(土)、12 月 17 日(土)

【スポーツプログラム委員会】

Web 会議システムを使用して、スポーツプログラム委員会正副委員長会議を下記の日程で開催した。

1 月 15 日(土)、4 月 16 日(土)、7 月 23 日(土)、10 月 15 日(土)、12 月 3 日(土)

【ヘルシー・アスリート・プログラム委員会】

Web 会議システムを使用して、ヘルシー・アスリート・プログラム委員会会議を下記の日程で開催した。

1 月 30 日(日)、10 月 9 日(日)、11 月 3 日(木)(臨時)

【調査研究委員会】

下記の日程で会議を開催した。

日時 : 8 月 13 日(土)Web 会議システム、9 月 17 日(土)対面

【スポーツウェルネスチーム】 全 7 回

月 1 回 Web 会議システムを使用しての会議を開催した。

1 月 20 日(木)、2 月 17 日(木)、4 月 14 日(木)、6 月 16 日(木)、8 月 4 日(木)、10 月 13 日(木)、
12 月 15 日(木)

【COVID-19 対応検討会議】 全 8 回

新型コロナウイルス感染症への対応を検討するため、Web 会議システムを使用して開催した。

1 月 27 日(木)、3 月 3 日(木)、4 月 7 日(木)、5 月 19 日(木)、6 月 23 日(木)、8 月 10 日(水)、9 月 9 日(金)、
11 月 29 日(火)

・「公益財団法人スペシャルオリンピックス日本の事業における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する
基本方針」改定

・「2022 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島」新型コロナウイルス感染症
対策 ガイドラインの策定

【役員候補者検討委員会】

7 月 22 日(金)、9 月 16 日(金)、12 月 1 日(木)

【ガバナンス検討会議】

1 月 28 日(金)、4 月 20 日(水)、12 月 14 日(水)